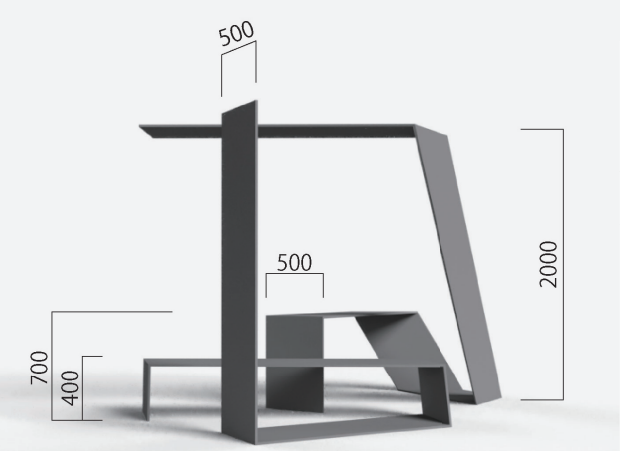


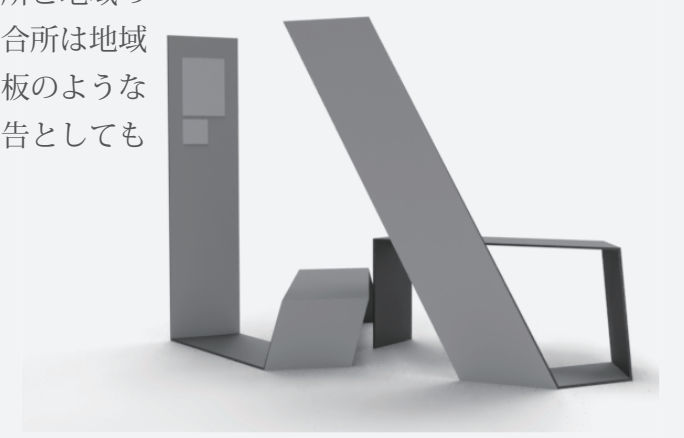


腰掛けは2つの高さに分けた。バスが頻繁に来るこの場所では、立った姿勢で軽く腰を掛けられる高さが、この待合所に人を呼び寄せるだろうと考えた。



腰掛けの高さは、400ミリと700ミリ。

バスの待合所であり、事務所と地域の人々の結節点でもある。この待合所は地域の人を引き寄せ、さらに掲示板のような使い方をすれば、事務所の広告としても機能する。



Ribbon

テーマは「Ribbon (リボン)」である。Ribbonという言葉には、待合所が地域の人との結び目になってほしいという期待を込めた。さらに、黒いリボンのような見た目は「シンプルで美しい」「馴染むが存在感を放つ」という建築としての目標を実現している。

いかに、既に建つ事務所の景観を損なわずして魅力のある待合所にするかというのが問題であった。それを解決したのがリボンのような2枚の細長い鉄板である。色味やテクスチャを揃えることで、馴染みつつ、事務所の「オブジェ」であり「広告塔」であり「リボン(地域との結び目)」であり、「バスの待合所」である。

この待合所は2枚の鉄板のみで構成されており、構造上のシンプルさも追求している。

図に示すように、細長い2枚の鉄板をすべて谷折りにし、このかたちとなる。鉄板を複雑なかたちにくり抜くこともないため、コストパフォーマンスや無駄な資源を出さないことへもつながる。

